

平成29年度



学校だより

伸びよう 豊かに たくましく ~学ぶ喜びにあふれた学校をめざして~

平成30年1月9日
横浜市立高田小学校

1月号

「あけましておめでとうございます」

校長 金子 一雄

新年あけましておめでとうございます。校庭の銀杏や桜の木もすっかり落葉し、冬らしい景色となりました。冬休み中も寒さの厳しい毎日でしたが、晴れた日には、校庭で学童の子どもたちが元気いっぱい遊んでいる姿がみられました。

昨年は高田小学校の子どもたちのために、たくさんのご支援・ご協力をいただきましてありがとうございました。特に12月に行われた持久走会では、保護者の皆さまのたくさんのお見守り、ご声援ありがとうございました。心より感謝申し上げます。当日はよい天気にも恵まれ、子どもたちも一生懸命走っていました。大きな行事になりますと、安全面からも保護者の皆さまのご支援がたいへん助かります。これからも学校行事へのご協力の程、よろしくお願ひ申し上げます。教職員一同、心をひとつにして、子どもたちが健やかに成長できますよう、頑張っていきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

12月に人権週間が設定されていました。それに関連して、朝会で、子どもたちに「心のキャッチボール」について話をしました。バスケットボールやサッカーなどスポーツでパスするとき、パスする相手のことを考えます。「お願ひ、頼む」という気持ちと「わかった、まかせて」という気持ち、そこには信頼関係があります。一方通行ではなくてお互い相手のことを考えること、相手の気持ちを考えて行動すること、この「心のキャッチボール」を大切にしたいと言うことを話しました。

人間は学校でも社会でも周りの人と関わって生きていきます。何かを目指すとき、ひとりで取り組むよりは、周りの人と協力して行う方が絶対大きな力になります。また、困難なことを解決するとき、周りの人が大きな支えになってくれることもあります。一人でも生きていけるかもしれませんが、周りの人たちと協力して行く方が、人生を何倍にも豊かにしてくれると思います。ですから周りの人と関わるということ、つまり、コミュニケーションをうまくとると言うことは、学校や社会で生活していく子どもたちに是非培ってほしい資質の一つだと考えています。この力の基本となる「心のキャッチボール」の精神を理解し、相手と心から向き合うことを大切にしていって欲しいと願ひ、この話をしました。

今日から後期の後半が始まりました。年末には、インフルエンザが流行して、学級閉鎖したクラスもあり心配していましたが、それもひとまず収まったようです。久しぶりに会った子どもたちから元気なあいさつが返ってきたことを大変うれしく感じました。

この時期は、日没が早いこともあり、毎年月日が過ぎるのをより早く感じます。そうした中でも「書き初め」、「幼保小交流会」、「学習発表会」、「避難訓練」、「創立記念日」、「6年生を送る会」、「第69回卒業証書授与式」など大切な行事が計画されています。これまで学んだことの集大成として、一生懸命にのぞんで欲しいと思います。特に6年生には、一日一日を大切に高田小学校での最後の3か月間を充実して過ごせるよう願っています。

これからしばらくの間、最も寒い時期を迎え、風邪やインフルエンザが流行る時期です。どうぞお気をつけてください。